

「やまなか傷害予防道場」では、皆様（門下生）から問答の回答を募集しております。
下記の間答で回答を募集しておりますので、我こそはと思われる先生は、ぜひともご応募ください。

傷害予防問答 チ

小児科臨床医であれば、ミニトマトによる窒息死、浴槽での溺死、睡眠中の突然死などの子どもを看取ったことがあるはずである。長期に生存していれば、治療しながら家族と関わりを持つことができる。一方、救急搬送され、心肺蘇生をしたが心拍は戻らず、来院後数時間で死亡する場合もある。死亡直後には、来院後の処置や死亡までの経緯について遺族に話をし、その後、警察に通報する。その後、遺族と連絡をとったことがありますか？ 小児科医として、遺族に対してどのような関わりをしてきましたか？ また、どのような関わりが望ましいと思いますか？

- ・名前は匿名でも結構です。
- ・回答についての文字制限等は特にございません。
- ・回答については一つのお題でも、複数のお題についてお答えいただいてもかまいません。
- ・回答は、編集部で選考のうえ掲載させていただきます。

回答は、メールまたは郵送でお待ちしております。

「やまなか傷害予防道場」宛 E-mail : journal@shoni-iji.com

郵送 : 〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F

「やまなか傷害予防道場」では、皆様（門下生）から問答の回答を募集しております。
下記の間答で回答を募集しておりますので、我こそはと思われる先生は、ぜひともご応募ください。

傷害予防問答 ツ

傷害予防活動を行っても、その効果を確認することはとてもむずかしい。がっかりすることも多い。どうすれば効果があるのかよくわからない。今回は、目先のことを考えるのはちょっとやめて、20年後を考えてみよう。事故によって子どもが傷害を受けることに関して、こういう状況になっていたらいいという夢を語ろう。SF（サイエンス・フィクション）も含めて、思い切り大きな夢を描き出してみてください。

- ・名前は匿名でも結構です。
- ・回答についての文字制限等は特にございません。
- ・回答については一つのお題でも、複数のお題についてお答えいただいてもかまいません。
- ・回答は、編集部で選考のうえ掲載させていただきます。

回答は、メールまたは郵送でお待ちしております。

「やまなか傷害予防道場」宛 E-mail : journal@shoni-iji.com

郵送 : 〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F

「やまなか傷害予防道場」では、皆様（門下生）から問答の回答を募集しております。
下記の間答で回答を募集しておりますので、我こそはと思われる先生は、ぜひともご応募ください。

傷害予防問答 ㊦

2019年8月、東京のとしまえんの水上エア遊具で溺死の事故が発生した。この事故に対して、意見書、あるいは要望書を書いてみてください。どこに対して、どのような要望、あるいは意見を言うべきかを考えながら書いてみてください。

- ・名前は匿名でも結構です。
- ・回答についての文字制限等は特にございませぬ。
- ・回答については一つのお題でも、複数のお題についてお答えいただいてもかまいません。
- ・回答は、編集部で選考のうえ掲載させていただきます。

回答は、メールまたは郵送でお待ちしております。

「やまなか傷害予防道場」宛 E-mail : journal@shoni-iji.com

郵送 : 〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F

「やまなか傷害予防道場」では、皆様（門下生）から問答の回答を募集しております。
下記の間答で回答を募集しておりますので、我こそはと思われる先生は、ぜひともご応募ください。

傷害予防問答 ト

子どもが傷害を負ったために受診してきた保護者に、どう対応するのがいいと思いますか？ どう話しかけますか？ 具体的な事例でないと答えにくいので、以下の事例について対応してみてください。

「11カ月，男児。兄弟はいない。○月○日，午前9時15分ころ，母親は台所で洗い物をしていた。急に泣き声が出たので和室に行ってみると，乳児用ベッドのなかで寝ていたはずの子どもが畳の上に倒れて泣いていた。嘔吐はなかったが，心配になって午前12時に当院を受診した。診察上，前額部の打撲？ 以外に所見はなかった」

- ・ 名前は匿名でも結構です。
- ・ 回答についての文字制限等は特にございません。
- ・ 回答については一つのお題でも，複数のお題についてお答えいただいてもかまいません。
- ・ 回答は，編集部で選考のうえ掲載させていただきます。

回答は，メールまたは郵送でお待ちしております。

「やまなか傷害予防道場」宛 E-mail : journal@shoni-iji.com

郵送 : 〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F

「やまなか傷害予防道場」では、皆様（門下生）から問答の回答を募集しております。
下記の間答で回答を募集しておりますので、我こそはと思われる先生は、ぜひともご応募ください。

傷害予防問答 ナ

小児科医は、子どもの健康、安全に関わる仕事をしているが、なかには社会的課題として取り組まねばならないものもある。

日本小児科学会は、小児科医の到達目標（平成27年4月、改訂6版）において、「小児科医は子どもの総合医である」ことを基本姿勢としており、小児科専門医の医師像を5つの視点から提示している。その3番目は「子どもの代弁者」、すなわち「アドボカシー活動」を小児科医の役割と位置付け、「小児疾患に関わる社会的な問題について子どもの代弁者としてその解決にあたることが求められる。小児科専門研修においてはアドボカシーの実際を経験し、自らアドボカシーの対象を探求するとともに、その実現のための方策を考える」と書かれている。アドボカシー活動として、傷害予防はとてもよい題材と思われる。専門研修のアドボカシー活動として、傷害予防のプログラム案を設計してみてください。

- ・名前は匿名でも結構です。
- ・回答についての文字制限等は特にございませぬ。
- ・回答については一つのお題でも、複数のお題についてお答えいただいてもかまいません。
- ・回答は、編集部で選考のうえ掲載させていただきます。

回答は、メールまたは郵送でお待ちしております。

「やまなか傷害予防道場」宛 E-mail : journal@shoni-iji.com

郵送 : 〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F

伝言板

やまなか傷害予防道場のライブ版が下記のように行われます。興味のある方はぜひご参加ください。

第30回日本外来小児科学会年次集会

開催日時 : 2020年8月30日(日) 午前, 90分間

開催場所 : 同志社大学今出川キャンパス良心館(京都市上京区今出川)

今回の質問には4つの回答をいただきましたので、2回に分けて掲載します。今回は、夢を語ってもらうので、判定はなしにしました。

回答募集

「やまなか傷害予防道場」では、皆様（門下生）から問答の回答を募集しております。
下記の間答で回答を募集しておりますので、我こそはと思われる先生は、ぜひともご応募ください。

傷害予防問答 ☰

教員を対象とした「学校でのスポーツ事故を防ぐために」というセミナーがあった。会場から「学校の予算は決まっており、安全器具などを購入する費用にはなかなか回らない。この点について、どうしたらいいのでしょうか？」という質問があった。

この質問にどう答えたらいいか？

- ・名前は匿名でも結構です。
- ・回答についての文字制限等は特にございません。
- ・回答については一つのお題でも、複数のお題についてお答えいただいてもかまいません。
- ・回答は、編集部で選考のうえ掲載させていただきます。

回答は、メールまたは郵送でお待ちしております。

「やまなか傷害予防道場」宛 E-mail : journal@shoni-iji.com

郵送 : 〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F

伝言板

やまなか傷害予防道場のライブ版が下記のように行われます。興味のある方はぜひご参加ください。

第30回日本外来小児科学会年次集会

開催日時 : 2020年8月30日(日) 午前, 90分間

開催場所 : 同志社大学今出川キャンパス良心館(京都市上京区今出川)

「やまなか傷害予防道場」では、皆様（門下生）から問答の回答を募集しております。
下記の間答で回答を募集しておりますので、我こそはと思われる先生は、ぜひともご応募ください。

傷害予防問答 又

学校管理下で死亡事故が起こった後の経緯を見ると、どの場合でもほぼ同じパターンをとっている。例えば、サッカーゴールが転倒して死亡事故が起こると、ゴールが固定されていなかったことがわかり、担任と校長が刑事責任を問われ、民事裁判では賠償金が発生する。しばらくすると、また同じ事故が起こって、同じ経緯をたどることになる。この予防につながらない状況をどうしたらいいのだろうか？

- ・ 名前は匿名でも結構です。
- ・ 回答についての文字制限等は特にございません。
- ・ 回答については一つのお題でも、複数のお題についてお答えいただいてもかまいません。
- ・ 回答は、編集部で選考のうえ掲載させていただきます。

回答は、メールまたは郵送でお待ちしております。

「やまなか傷害予防道場」宛 E-mail : journal@shoni-iji.com

郵送 : 〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F

伝言板

やまなか傷害予防道場のライブ版が下記のように行われます。興味のある方はぜひご参加ください。

第30回日本外来小児科学会年次集会

開催日時 : 2020年8月30日(日) 午前, 90分間

開催場所 : 同志社大学今出川キャンパス良心館 (京都市上京区今出川)

「やまなか傷害予防道場」では、皆様（門下生）から問答の回答を募集しております。
下記の間答で回答を募集しておりますので、我こそはと思われる先生は、ぜひともご応募ください。

傷害予防問答 ネ

これまで、「傷害予防の活動は多職種で取り組む必要がある」と指摘してきましたが、「多職種」といってもいろいろあり、具体的にはよくわかりません。小児科医として、どんな職種といっしょに取り組む必要があると思いますか？ 思いつく職種と、その職種に期待する活動はどのようなものか挙げてみてください。

- ・名前は匿名でも結構です。
- ・回答についての文字制限等は特にございません。
- ・回答については一つのお題でも、複数のお題についてお答えいただいてもかまいません。
- ・回答は、編集部で選考のうえ掲載させていただきます。

回答は、メールまたは郵送でお待ちしております。

「やまなか傷害予防道場」宛 E-mail : journal@shoni-iji.com

郵送 : 〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F

「やまなか傷害予防道場」では、皆様（門下生）から問答の回答を募集しております。
下記の間答で回答を募集しておりますので、我こそはと思われる先生は、ぜひともご応募ください。

傷害予防問答

- ・グラウンドのサッカーゴールが突風で倒れ、中学3年生が下敷きになって死亡した。事故から5日後、その中学校の校長が首を吊って自殺した。
 - ・目を離したすきに、3歳の子どもが7階の建物のベランダから転落して死亡した。母親は「死にたい」と思い詰める。
- このように、自らの死によって責任を償うということに対して、医療従事者は何ができるだろうか？

- ・名前は匿名でも結構です。
- ・回答についての文字制限等は特にございません。
- ・回答については一つのお題でも、複数のお題についてお答えいただいてもかまいません。
- ・回答は、編集部で選考のうえ掲載させていただきます。

回答は、メールまたは郵送でお待ちしております。

「やまなか傷害予防道場」宛 E-mail : journal@shoni-iji.com

郵送 : 〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F

「やまなか傷害予防道場」では、皆様（門下生）から問答の回答を募集しております。
下記の間答で回答を募集しておりますので、我こそはと思われる先生は、ぜひともご応募ください。



傷害予防問答 Ⅷ

新聞記者から質問があった。

子どもの事故が繰り返される最も元凶となっている原因、それは何なのでしょう？ 情報の欠如なのか、メーカーや社会が他人事で済ませているのか、どこが元凶なのでしょう？

- ・名前は匿名でも結構です。
- ・回答についての文字制限等は特にございません。
- ・回答については一つのお題でも、複数のお題についてお答えいただいてもかまいません。
- ・回答は、編集部で選考のうえ掲載させていただきます。

回答は、メールまたは郵送でお待ちしております。

「やまなか傷害予防道場」宛 E-mail : journal@shoni-iji.com

郵送 : 〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11-2F